

北アルプス日本海広域観光連携会議 総会 会議録

日時 平成29年 5月16日 午後 4時00分

午後 5時00分

場所 ヒスイ王国館（糸魚川市大町1-7-11）

1 開 会

2 会長あいさつ

糸魚川市・米田市長

北アルプス日本海 広域観光 連携会議の総会の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、大変ご多用なところ、また、遠方から糸魚川市にお越しいただき、誠にありがとうございます。

北アルプス日本海 広域観光 連携会議の総会が、このように盛大に開催できること、皆様に厚く御礼申し上げます。

昨年12月22日に発生した「糸魚川市駅北大火」に際して、北アルプス日本海 広域観光 連携会議の構成団体の皆様から、御見舞金や義援金、ボランティア活動など、多大なご支援を賜ったことに、この場をお借りして、厚く感謝を申し上げます。

現在は、復興計画の策定に向け、国、県からの支援をいただく中、「災害に強く、賑わいがあり、住み続けられるまち」を方針に据え、8月の公表を目途に全力で取り組んでいるところである。

今後とも、皆様の変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、北アルプス日本海 広域観光 連携会議も設立から、5年目となり、新幹線開業による様々な効果を有効に活用できるよう、近隣市町村の皆様と連携し合い、地域全体の交流人口の拡大と観光産業の発展を目指しているところである。

昨年度は、観光庁の訪日プロモーション地方連携事業を実施する中で、サイクリストをターゲットとしたインバウンドの誘客に繋がる取り組みにも着手して参ったが、今年6月に、台湾からのサイクリングツアーも実施されることが決定し、徐々にではあるが効果も出てきており、今年度は取り組みをさらに拡大し、国内はもとより、世界各地からお客様を呼べるような地域にして参りたいと考えている。

私達の地域は、貴重な自然資源と観光資源を有している反面、多くの課題も抱えている。

県域を越えた観光連携を組織し、一体となって活動していくことが、地域の魅力を拡大させ、課題の克服につながるものと考えている。

また、連携を強化し、今後も取組を継続し、さらに加速させていくことが、この地域を益々発展させていくものと考えているので、皆様からの特段のご理解とご協力をお願い

い申し上げる。

結びに、北アルプス日本海 広域観光 連携会議のますますのご発展と、本日もご参会の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げて、開会の挨拶とさせていただきます。

その後、副会長である

白馬村・下川村長、小谷村・松本村長、朝日町・笹原町長、
上越市・市川産業観光部長、大町市・竹村産業観光部長
から挨拶いただいた。

3 議事

連携会議規約第6条第2項の規定により、米田会長が議長を務める。

- 第1号議案 平成28年度事業報告について
 - 第2号議案 平成28年度収入支出決算について
- 関連するものとして第1号議案と第2号議案を一括議題とし、あわせて説明。

【監査報告】

平成28年度収入支出決算について、糸魚川地域振興局浦部局長から監査報告がなされ、適正に処理されていることが確認された。

第1号議案、第2号議案とも質疑なし。
原案のとおり承認された。

- 第3号議案 平成29年度事業計画（案）について
 - 第4号議案 平成29年度収支予算（案）について
- 関連するものとして第3号議案と第4号議案を一括議題とし、あわせて説明。

第3号議案、第4号議案とも質疑なし。
原案のとおり承認された。

4 その他

質疑事項

西日本旅客鉄道(株)金沢支社北陸広域鉄道部・平崎大糸線担当部長

サイクルトレインが6月より運行される運びとなった。はじめての試みでもあり、カーゴトラック&トレインと合わせて、多くの方から利用していただきたいと思う。

北アルプス日本海広域観光連携会議からもご支援を賜りたい。

糸魚川市・米田市長

サイクルトレインを実施して頂き感謝申し上げます。サイクルトレインは誘客に非常に有効だと思うので、積極的に取り組んでいただきたい。

5 閉会あいさつ

白馬村・下川村長

17:00終了